

### 5. 本單元における言語活動

単元を貫いて位置付けた言語活動とその特徴、その特徴が単元の目標の実現にどのように結び付くのかを示しています。

### 6. 交流について

単元で行う交流の、具体的な目的を示しています。

### 7. 評価について

本研究で行った三つの評価の単元の中での位置付けを示しています。

また、「主体的な学びを喚起する評価」「一時間の学びに対する評価」の手立てについて、例を挙げながら示しています。

### 8. 「評価をするときに基とするもの(教師用)」

指導者が「単元を貫く言語活動に対する評価」を行うときの基準と、その手立てを示しています。

8. 「評価をするときに基とするもの(教師用)」		
尺度	基準	手立て
4	・物語の内容を的確に押さえて要旨を捉え、 ・友だちとの交流で考えを再構築し、 ・薦めたい対象と推薦文の内容が合っていることを明確に示している。	① どのような人柄を児童とともにどのようにあとの方について選んでいる「その場面の本さけ、児童の
3	・物語の内容の土俵をたよりに、 ・3に達していない児童に対して>	② どのような人柄を児童とともにどのようにあとの方について選んでいる「その場面の本さけ、児童の

## 学力向上につながる小学校国語科の授業づくりⅡ 本指導案の活用にあたって

本指導案は、付けたい力を「自分の考えを明確にしながらかつ読む力」とし、指導法や評価の工夫をするにあたって参考となるよう、作成しました。

本指導案の見方について説明します。

### — 構成 —

1. 本単元で付けたい力
2. 単元名
3. 単元目標
4. 目指す児童の姿
5. 本單元における言語活動
6. 交流について
7. 評価について
8. 「評価をするときに基とするもの(教師用)」
9. 単元計画
10. 各時間の学習展開例

### 10. 各時間の学習展開例

つらむ	まなぶ	いかに
<p>(9) 第9時の展開例(9/11)</p> <p>ア 目標 自分の心に強まったところやその理由・根拠について、友だちに聞いてみたいことを明確にして交流し、自分の考えを広げたり深めたりできる。</p> <p>イ 展開</p> <p>1. 本時の学習目標を知り、学習の意進しを待つ。            (例)「Good(グッド)！&lt;くろ相談会&gt;！            「Good(グッド)！&lt;くろ&gt;」を交流し、            自分の考えを広げたり深めたりしよう。</p>	<p>2. 「Good(グッド)！&lt;くろ相談会&gt;」を開き、動物と人間の関わりを聞いた本の「Good(グッド)！&lt;くろ&gt;」やその理由・根拠を交流する。</p> <p>① 目的のある交流</p> <p>(1) 自分の「絵本リーフレット」、ワークシートを基に、            ・動物と人間の関わりを聞いた本の「Good(グッド)！&lt;くろ&gt;」を交流する。            ・「Good(グッド)！&lt;くろ&gt;」を交流する。            ・「Good(グッド)！&lt;くろ&gt;」を交流する。            ・「Good(グッド)！&lt;くろ&gt;」を交流する。</p>	<p>3. 交流したことを基に、考えを再構築するとともに、本時の学習を振り返り、            ・付箋に学習して分かったことや感想などを書く。</p>
<p>【授業改善のこの時間の②】</p> <p>② 目的のある交流</p> <p>ここでは、「Good(グッド)！&lt;くろ&gt;」の理解の内容について、児童が自分の目的に応じた根拠をし、アドバイスし合います。第二次の「読むこと」の学習で学んだことを積極的に生かして交流します。児童が自分の目的に応じた内容について交流する活動は、第8時で実施しています。そのときの学習を生かしながら交流します。本単元での付けたい力の観点から、交流する中心は、「Good(グッド)！&lt;くろ&gt;」の理由の部分とします。児童の学習状況に応じて、「ODのことについて聞きたい」という意欲を事前に持たせておきます(「P19参照」)。今回は、第二次の交流とは違っており、児童が自分が読んだ動物と人間の関わりを聞いた本に基づいた交流なので、交流を二段階で行います。交流するときは、アドバイスなどの質問などの形を明確に示して促すよう配慮します。どのアドバイスをもとに取入れられるか、出された質問についてどのように答えるかを考えることは、児童の考えを深めるきっかけになります。</p> <p>【交流する児童】            前時に、聞いてみたいことを明らかにしておく。</p> <p>【交流者の隣の児童】            前時までに、隣の児童が読んでいる本を誰と見ているか、事前に物語を知っている立場からの質問やアドバイスをする。</p> <p>【交流する児童】            前時に、聞いてみたいことを明らかにしておく。</p> <p>【交流者の隣の児童】            前時までに、隣の児童が読んでいる本を誰と見ているか、事前に物語を知っている立場からの質問やアドバイスをする。</p>		

#### ① 本時における指導法の工夫

本研究では、四つの指導法の工夫を行いました。  
 「主体的な学びの喚起」「全体を把握して読む」「考えの明確化」「目的のある交流」

本時の展開の中で、どの指導法の工夫を位置付けているかを示しています。

#### ② 授業改善のポイント

本時に位置付けた指導法の工夫を実践するにあたってのポイントを示しています。参考にいただき、児童の実態に合わせて指導実践してください。